

# 中央区環境情報誌

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

## 中央区の森だより



**中央区の森(数馬地区)で自然環境調査を行っています!**

区では、平成18年10月から東京都西多摩郡檜原村の数馬地区において「中央区の森」事業を開始し、NPO法人里山再生塾が実施する森林保全活動の支援を行っています。

本事業は、昨年10月で事業開始から10年が経過し、森林保全活動を継続的に実施したことにより、荒廃していた森林内の環境も改善され、さまざまな動植物が見られるようになりました。

前回発行した環境情報誌(6月号)では、4月に行った自然環境調査の結果を紹介しました。

今回は、8月と9月の調査結果から「きのこ」をクローズアップし、紹介します。



真っ赤な色の猛毒きのこじや



主に針葉樹の根元に生えるんじや



生えはじめは、たまごの形をしておるぞ



クリタケによく似た、毒きのこじや



色はほかにも黄色や紅色があるぞ



このきのこは折り重なるように生えるぞ

**きのこ**

合計6種類のきのこを見つけました。  
◎森林所有者の許可なく採取は禁止です。  
◎は毒きのこです。



**中央区の森 体験ツアーを実施しています**

「中央区の森」事業に対する理解を深め、自然の中での活動体験を通して環境意識を高めていただくため、間伐や植樹、炭焼きなどが体験できる「中央区の森体験ツアー」を年2回(春・秋)、また、小学生とその保護者の方を対象に「中央区の森親子自然体験ツアー(夏)」を実施しています。

平成29年度は全ての体験ツアーで定員を超えるご応募をいただきました。

皆さんも自然の中で汗を流しながら環境について考えてみませんか?

開催のお知らせは区の広報紙やホームページなどに掲載します。皆さまのご応募をお待ちしています!

**「中央区の森」事業にご協力ください。**

「中央区の森」事業へ皆さまのご支援をお願いいたします!

●問い合わせ先 環境推進課環境活動係 ☎(3546)5654

**「中央区の森寄附金」をご存知ですか?**

「中央区の森」事業を円滑に運営するため「中央区森とみどりの基金」を設置するとともに、寄付制度「中央区の森寄附金」を設け、事業にご賛同いただける方々からのご寄付をお願いしています。

いただいた寄付金は森林の保全活動を行う団体などへの活動費助成に使われます。

「中央区の森」事業へ皆さまのご支援をお願いいたします!

**申し込み方法**

左記問い合わせ先までお電話いただくか、電子申請でお申し込みください。後ほど払込用紙を郵送いたします。

もしくは、区役所7階環境推進課窓口まで直接お越しください。なお、現金のみでの受付となります。

「中央区の森」は皆さんの力で支えられています

# 環境情報センター

## 環境講演会が開催されました!

10月14日にNHK気象キャスターの平井信行(ひらい・のぶゆき)さんを講師にお招きし、中央区環境講演会が開催されました。平井さんは、現在NHK「おはよう日本」で平日の朝に天気予報をされており、今回は「気象予報士から見た地球環境の変化」というテーマで100人を超える参加者を前に約1時間半にわたる講演頂きました。毎日の天気予報の準備の様子から、最近の異常気象の実態、中央区のハザードマップ、地球規模の環境問題に至るまで、クイズを織り交ぜながらの最新データに基づいたお話しに、参加者からは、「温暖化を少しでも食い止めるべく私も緑化などの努力をますますしなけ



▲講演当日の様子

ればと思った」「天気予報をまた別の視点から見ることができそうで楽しみ」と好評でした。環境情報センターでは、今後もこのような環境講演会を開催していく予定です。

## 環境活動登録団体の紹介 成熟都市とオオカミ・研究会



近年、全国的にシカ、イノシシ、クマなどの急増による森林・農作物被害や交通事故が社会問題となつていす。研究会では、かつて我が国の食物連鎖上の頂点捕食者として自然や生物多様性を守ってきたが、約100年前に絶滅してしまった「オオカミ」について勉強しています。また、人の手による自然の管理が難しい現在、絶妙なバランスを持つ自然に管理される生態系が必要だと伝える活動をしていきます。

研究会を主宰する鈴木徹治さんは「童話赤ずきんなどにより、怖いイメージがあるオオカミ。これは彼らの本来の姿でしょうか?オオカミについて学び、都市に住む皆さんにも自然保護の必要性を共に考えてもらいたい」と話します。最近では生態系回復に向けてオオカミが果たす役割について理解が進み始めたとのこと。今後オオカミの正しい理解と豊かな自然回復のために積極的に活動していく予定です。

平成27年6月に環境情報センターの登録団体となり、展示イベントや子ども、大人向け「オオカミ教室」を開催。今秋日本各地で開催された「日・米オオカミふおらむ2017」では、全国組織の「日本オオカミ協会」と連携して東京地区を担当し、87人もの方が参加されたとのこと。



▲講座にて子どもたちが作成した壁新聞

## 1~3月のイベント情報

講座は電話またはホームページからお申し込みください。申し込み多数の場合は抽選となります。展示は申し込み不要、入場自由です。

### 講座・ワークショップ

#### 環境活動発表会

2月11日(日)午後2時~5時  
【申込期限】2月9日(金)  
※電話のみの受付となります。  
【内容】区内の環境団体による、自然環境保全や、緑化活動、省エネなどの活動発表を行います。

#### 親子★自然観察会

3月11日(日)午前10時~正午  
【申込期限】2月21日(水)  
【対象】小学生と保護者10組  
【内容】浜町公園で早春に見られる生き物の生態を学びます。



#### ビンの中の小さな自然 ~苔テラリウムづくり~

3月17日(土)午後2時~4時  
【申込期限】2月28日(水)  
【対象】18歳以上、20人  
【内容】テラリウムづくりをとおして、生態系について学びます。



完成例▶

### 展示

#### 暮らしの中で、自然とつながる99の方法

1月4日(木)~30日(火)  
【協力】樹木・環境ネットワーク協会

#### 企業の環境活動展~中央区企業のCSR・CSV活動を見てみよう~

2月1日(木)~27日(火)  
【協力】中央区企業CSR・CSVリレーセミナー参加企業

#### 中央区の森紹介展

3月1日(木)~30日(金)

●問い合わせ先 環境情報センター ☎(6225)2433 HP <http://eic-chuo.jp/> 所在地 中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6F

## 環境作品コンクール 入賞者のお知らせ

区では、区立小中学校の児童・生徒の皆さんに、環境について考え、自然の尊さや環境を守ることの大切さを知ってもらうため「環境作品コンクール」を実施しています。今年度は標語1008点、ポスター867点の応募がありました。審査の結果、次の方が最優秀・優秀作品として入賞しました。おめでとうございます。

### 入賞者(敬称略)

#### ●標語部門

最優秀作品(2人)  
久松小3年 無藤 紅央  
銀座中1年 小林 美咲

#### ●優秀作品(5人)

泰明小4年 庄司 慶太郎  
泰明小5年 稲村 薫  
久松小1年 杉井 心寧  
月島第一小2年 松本 新菜  
晴海中1年 島山 実紗希

#### ●ポスター部門

最優秀作品(2人)  
佃島小6年 土田 さくら  
日本橋中2年 下島 加菜

#### ●優秀作品(8人)

泰明小4年 安部 海咲  
泰明小6年 柏崎 美咲妃  
久松小1年 久松 千祐  
阪本小1年 石田 丞  
月島第二小5年 三嶋 ゆず  
月島第三小5年 奥平 愛理  
豊海小2年 米山 理央  
晴海中2年 崔 実嶺

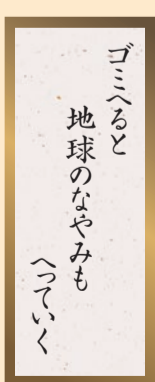
#### ●最優秀

日本橋中学校2年 下島 加菜



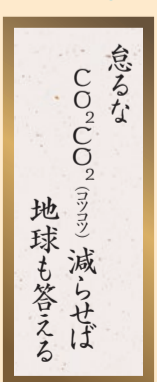
#### ●最優秀

佃島小学校6年 土田 さくら



#### ●最優秀

久松小学校3年 無藤 紅央



#### ●最優秀

銀座中学校1年 小林 美咲

#### ●問い合わせ先

環境推進課環境活動係 ☎(3546)5654

◎区施設でのパネル展示は終了しました。

# 「桜小橋」が開通しました



晴海通り周辺の混雑緩和と災害時の避難路確保を目的とした歩行者専用橋「桜小橋」が、勝どき二丁目から晴海一丁目にかけて整備されました。

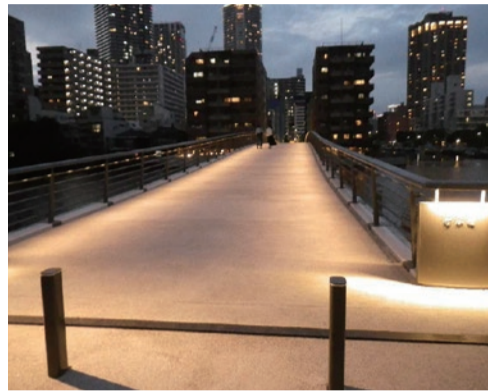
高層ビルに囲まれた都心において、川幅約90mの朝潮運河はのどかな水辺の風景を楽しめる希少なスポットです。桜小橋は、この水辺の魅力を引き立てるシンプルながらデザインをコンセプトに設計されています。

## 水辺にフオーカスした景観設計

橋桁は内部に東京電力の電線管路を12条抱えながら、厚さ1mのスリムな断面で屋形船や観光船が往来する朝潮運河の広い航路を渡しています。橋桁を支えている2本の橋脚も船からの眺めを妨げないすっきりとしたフォルムに絞られ、船底のような曲面を描く橋桁の下面や、橋の端部に向けて徐々に広がる歩道の形状など、橋の隅々に至るまで周囲の景観と調和するように配慮がなされています。



夜間は欄干のトップレールに内蔵されたLED照明が温かみのある電球色で橋を照らし、欄



干の足元にはコンパクトな演出照明が配置され、舟遊びをする屋形船からもライトアップを楽しめます。

## 石積み護岸の風情を保存

朝潮運河は1931年以降の埋め立てによって形成された人工水路ですが、現在進められている東京都の耐震護岸整備事業によって、古い護岸は徐々に新しい耐震護岸に置き換えられています。今回の工事においては、も橋の整備と併せて影響する範囲の護岸の耐震化を実施しました。工事に当たっては、古い護岸の石積みの一部を橋詰の緑地の意匠に取り入れ、当時の面影を残す運河沿いの風景の保存を図っています。

## 周辺環境のデザイン

護岸の上を折り返して区道へと接続するスロープは、地盤の高さが異なる勝どきと晴海とをバリアフリーの緩やかな勾配で結ぶもので、舗装には脱色アスファルトを採用し、橋本体に施されている自然石を使用した舗装とともに、歩行空間に歩

きやすさと素朴な風合いをもたらししています。

橋詰に設けられた植栽帯は、橋の整備によって生じる人通りから植樹によって住民のプライバシーを保護するために計画されたもので、グランドとしての機能を持たせつつ、建物からの眺めはできるだけ妨げないような高さのある枝ぶりの涼しげな樹木が中心となっています。高さのある樹木は一般的に運搬が難しく需要も少ないため、市場にほとんど流通しませんが、今回の調達に当たっては、数寄屋橋公園のリニューアルに際して当時撤去予定となっていた樹木の一部を移植して活用することで、機能と環境の両面に配慮しています。



▲勝どき側からのアプローチ

●問い合わせ先  
道路課月島道路事務所  
☎(35531)1155

# 第14回子どもとためす環境まつりが開催されました！

第14回「子どもとためす環境まつり」(中央区環境保全ネットワーク主催、中央区・中央区教育委員会共催)が9月23日(祝)、有馬小学校で開催されました。今年も29の企業・団体が参加し、子どもたちがゲームや工作を通じて楽しく学べる体験型の環境学習イベントとして大いに賑わいました。

はじめ、食品ロスを考えるクイズなど、見て・触って・作ることのできるイベントがめじろ押しでした。開場と同時に子どもたちが集まり、思い思いのオリジナルグッズを作っていました。教室では、区内7つの小学校から学んだ環境やエコについてのパネルが展示されていました。



▲メイン会場の様子

●問い合わせ先  
環境推進課環境活動係  
☎(3546)5654

子どもリポーターが直撃取材

## 緑のアダプト活動

## NPO法人京橋川再生の会

NPO法人京橋川再生の会(以下、再生の会)は平成22年9月設立。今年5月から中央区緑のアダプト活動に登録し、京橋三丁目「京橋大根河岸おもてなしの庭」の手入れを行っています。今回は再生の会実行委員の鹿内京子さんにお話を伺いました。

区の地域活性化策を再生の会が取りまとめ、平成27年に「緑の環境プラン大賞」(公財・都市緑化機構)を受賞し、助成金でもてなしの庭を整備、今年3月に竣工しました。

見違えるようにきれいになりました。手入れを手伝う皆さんも「普段家でやっているような感覚。草花が好きなら誰でもできることです」と笑顔を見せてくれます。今後も2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、和のおもてなしの拠点としてきれいな緑地の維持に努めていきます。



▲おもてなしの庭

## 京橋の活性化目指す

この緑地帯は、以前より京橋三丁目町会が中心となり季節のイベント開催、清掃活動などに取り組んでいましたが、たばこの吸い殻などが目立つ場所でした。そこで京橋を再生・活性化するために都市環境の専門家に相談。埋め立てられた河岸の再生と同地

## 「四季を感じる庭」を楽しむ

日本の伝統的な茶庭をイメージした山野草や樹木を植え、日常的に利用する人や海外からの観光客も含めて、日本の四季を感じていただけるようになっています。特に山野草は雑草と間違えやすいため、維持管理には気を使います。そのため、毎週月・金曜日には町会有志、月1回の頻度で再生の会で発足した維持管理チームが雑草取りや水やり、清掃、生育状況の確認などを行っています。

また緑地帯の近隣にお勤めの方々も地域貢献の一環として、率先して清掃や水やりなどを実施してくれており、以前と比べると



▲維持管理チームの皆さん

## 【ボランティアの募集】

区では、このような緑地帯のボランティアのほか、一人からできる道路上の花壇ボランティアも随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

●問い合わせ先  
水とみどりの課道路緑化施設係  
☎(3546)5437

# 中央エコアクト 認証事業所・第74号 株式会社ミラクル

「全員参加」  
中央エコアクトで、社員全員が省エネの意識を高めることができました。  
二酸化炭素排出量25%削減達成!!

中央エコアクト(事業所用)は、区内の中小規模事業所において、地球温暖化対策を進めるための取り組みです。各事業所の実情に合わせて環境活動を実践することで、二酸化炭素の排出量を減らすとともに、光熱費などの事業コスト削減が期待できます。

株式会社ミラクルは、平成17年5月に創業した遮熱塗料の専門メーカー。遮熱塗料とは、高い遮熱効果で建物内や屋根・道路表面などの温度上昇を低減し、省エネやヒートアイランド対策につながる製品です。今回は中央エコアクトの取り組みなどを深江典之常務に伺いました。



省エネの取り組みについて語る深江常務



区から贈呈される中央エコアクト認証書

中央エコアクトに参加したきっかけを教えてください。

当社は省エネ・環境製品を扱っていますので、社員も省エネ・環境に対する意識はある程度持っていました。この数年震災が相次ぎ、世界的にも地球温暖化が深刻化している中で、中小企業の立場から「何か自分たちでもできることはないか」と思ったことがきっかけです。また実際に省エネ活動の効果削減率といった数値で表れてくることで、社員の省エネ意識もさらに高まるのではないかと期待もありました。

具体的な取り組み内容を教えてください。

平成28年5月に中央エコアクトへの参加を申請し、その審査の一環として東京都の省エネルギー現地アドバイスを受診したところ、省エネ効果の高いLED照明器具への更新を提案されました。そして、同7月に中央区の助成制度を利用して、事務所内の照明40本をLED照明器具に更新したところ、その前の年の電力使用量と比べて7月は約20%削減、8月は約32%削減できました。

日常的な節電行動を照明、暑さ・寒さ対策、エアコン、PC、電源、チェック(行動)、その他の7項目に分け、19の目標を

決めました。特に電力消費量が多いエアコンについては、業務の効率化への影響を考え、『冷房の設定温度26度、暖房使用は定時まで』をベースに、天候や時間によって空調設定を変えることにしました。

他にも、社員からのアイデアを積極的に取り入れ、室内の観葉植物を増やしたり、ドアの開閉による室内換気を試してみたりなど、社員全員で省エネに取り組んでいます。また節電行動は、ポスターにして目に付きやすい壁に張り出し、常にチェックできるようにしています。



事務所内のLED照明器具



社内に掲示している節電行動のポスター

中央エコアクトの取り組みの効果はいかがですか？

平成28年9月から平成29年8月末までの一年間で、二酸化炭素の排出量は、その前の年の同期間と比べて25・1%削減となり、設定目標(25%)を達成できました。社員が2人増えて環境負荷が多くなった上での目標達成でしたので、社員もよく頑張ってくれたと思います。

社員の方の反応を含め参加してどんな感想をお持ちですか？

当社としては「省エネは、強制的に取り組ませることではない、日常業務の中で無理なく取り組むたい」という気持ちがありましたので、節電行動のアイデアを社員から募集し、出てきた多くのアイデアの中から取り組む項目を決めています。自分たちで知恵を出し合うことで当事者意識が芽生え、省エネに対する理解も深まったと感じます。

LED照明器具の導入費用の一部を助成金で対応できたこともよかったです。社員の増加や設備の減価償却の面などから事務所移転も検討していたので、導入するか悩んでいました。しかし、中央エコアクトの認証事業所になると助成金の優遇があり、減価償却を短期間で済ませることができたため、迷わず導入に踏み切ることができました。

今後の取り組みや目標を教えてください。

中央エコアクトに参加してから一年が経過し、取り組みの流れや省エネ活動自体の理解も深まってきましたので、これから節電行動に一つでも新しい項目が加えられるようにアイデアを考えるつもりです。今後は、半期に1回程度を目安に節電行動の達成度を社員と一緒にチェックするようにし、より精度の高い省エネ活動につなげていきたいと考えています。

問い合わせ先  
環境推進課温暖化対策推進係  
☎(3546)5628

## 環境分野の功労者 団体等を表彰

日頃から地域での清掃活動や資源回収にご尽力いただいている方々、事業系一般廃棄物の再利用などに積極的に取り組んでいる事業者、緑化活動等に貢献された区民や団体へ、12月8日(金)に感謝状を贈呈しました。受賞された方および団体等は左記のとおりです。(敬称略)

<b>①リサイクル活動団体(3団体)</b> ●ファミリーアクアージュ管理組合 ●蛸東美化クリーンクラブ ●シティフロントタワー住宅管理組合	<b>③事業用大規模建築物所有者等(2事業者)</b> ●あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 ●岡不動産株式会社
<b>②地域クリーン活動ボランティア(4個人・3事業者)</b> ●白崎 友子 ●金田 千鶴子 ●畔上 富治 ●山野井 幸子 ●株式会社セイビ ●郵船不動産株式会社 ●株式会社グローバルケア	<b>④緑化活動等ボランティア(5個人・2団体)</b> ●松木 菊枝 ●野中 若葉 ●高山 幸子 ●松尾 伸男・政子 ●小竹 麗子 ●さつき会 ●株式会社TSOne

- 問い合わせ先  
①中央清掃事務所清掃事業係  
☎(3562)1523
- ②環境推進課環境活動係  
☎(3546)9592
- ③中央清掃事務所排出指導係  
☎(3562)1524
- ④水とみどりの課緑化推進係  
☎(3546)5434

## 資源の品質向上にご協力をお願いします

集積所で収集しているプラスチック製容器包装・ペットボトルの中に、再資源化できない、汚れがついたままの状態での排出されるものが見受けられます。排出時はリサイクルを意識し、汚れを落とすきれいなものを正しく分別して、資源の再利用を高めましょう。

### プラスチック製容器包装の分別

- プラマークのついていないきれいなもの(食品トレイ、パック、キャップ類、緩衝材など)  
このマークが目印です。
- 中身を使い切っていないもの
- 洗っていない弁当容器
- 禁忌品(ライター、カミソリ、注射器など)

### ペットボトルの分別

- 汚れがついていないきれいなトレイ
- 汚れが残ったままのカップ麺の容器
- ライターは、燃やさないごみで排出してください。

- キャップやラベルがはがされ、きれいなペットボトル
- 汚れているペットボトル
- 缶は、ほかの資源とは分けて分別排出してください。

問い合わせ先  
中央清掃事務所清掃事業係  
☎(3562)1523